

## 箱根街道石畳道・屏風山ハイキング報告

【山城】箱根

【日程と天気】2019年11月24日(日) 曇り

【メンバー】菊池単独

【行程】

千城台 5:50—都賀—横須賀線—7:40 戸塚 7:47—東海道線—8:39 小田原 8:44—箱根登山鉄道—8:59 箱根湯本—バス—元箱根 9:45—箱根関所跡—登山口 10:14—11:20 屏風山—12:19 甘酒茶屋—旧箱根街道石畳道 13:06—13:44 元箱根—帰葉



・11月23日～24日は予定されていた立山初滑りは積雪不足で中止、関東地方は週末悪天予想でアウトドアは諦めていたが、箱根は曇りのち晴れ予想、休日お出かけパスを利用し箱根のショートハイキングに急遽行ってきた。湯本からバス、元箱根で降車、杉並木の旧箱根街道を関所に向かって進みます。東海道線で小田原に向かう途中、8時頃には晴れ間が少し出てきたが、天気的好転はなかなか進まず、小雨・霧模様の芦ノ湖に

は遊覧船が、ぼーっと浮かんでいた。箱根関所跡は外国人が多く、小雨模様でも賑わって



いた。

・登山口は 730m ほどの屏風山への登山口は民家の脇から入っていく。登山道はよく整備



されているが標高差 100m ほどは 30 度～ 40 度の階段の直登が続き、鉄柵と鎖が備え付けられている。段差が大きく、間に丸太の補助も整備されていた。まだ疲れているわけではないが老体にはきつい登りであった。緩やか

な登山道になってアセビロードの上に漸く青空が広



がってきました。カエデなどの広葉樹が多くなり、紅葉した落ち葉の登山道が気持ち良い。  
・周囲の樹叢を観察し写真撮影しながらのゆっくりペースの、登山口から 1:06 を費やして山頂に到着した。948m の屏風山は新期外輪山の一つで須雲川上流沿いの絶壁を屏風に見立てた命名とのこと。下りになるとまだ見頃のカエデがここに見られる。



苔むした巨木も見られるようになってきた。木の名前の看板がいくつかあり、アセビロードの花咲く時期に再訪してみたくなった。アセビはツツジ科なのですね。



倒木となったマメザクラがあった。見事な苔むした巨木が現れた。ブナはないのだろうかときよろきよろしながら観察していたので、これはブナの樹肌にそっくりだなあと近づいてみて、見上げて葉っぱを観察すると、なんとカエデの馬鹿でかい巨木でありビックリポンでした。一気に天気が回復しないかなあと考えながら、濡れた葉っぱや木



の根っこの多い滑りやすい下山道を慎重に下った。



沢音が強くなり、見事な黄葉のカエデが現れた。沢下りあり、小さな渡渉が3回ありました。こんな古い趣のある橋を渡ると間もなく道路に出ます。



・甘酒茶屋は標高 691m で紅葉が見頃です。軒下には干し柿が吊り下がっていて趣があり

ます。甘酒を頂きました。庭は広くテーブルの丸太の椅子で休憩できるようになっています。端の方で、チキンラーメン・ぶっこみ飯とドリップコーヒータイムでしばし休憩しました。



混みあっている茶屋の隣には旧街道資料館があります。箱根の歴史をヒシヒシと感じますね。

・今回のハイクの最後は箱根旧街道石畳道です。天気が悪く、登山道で出会った方は一人のみ、この有名な石畳道でも2～3Grに出会っただけでした。芦ノ湖が見えてきてもフィナーレ間近です。落ち葉の綺麗な石畳道、最後は結構傾斜がきついでスリッパしないよう最後まで気が

が抜けなかった。



紅葉と杉の巨木のフィナーレです。天気はあまりよくありませんでしたが、充実した静かなショートハイクでした。



どんな山行でも、そのエリア、登山道などのその時期に応じた魅力を見つけ出し、思い出として写真撮影をおこなったり、心に刻み付けておくことこそ、山歩きの醍醐味といえますね。

湯本までのバスは満員、立席で約 30 分、湯本に戻ってきました。駅でサッポロ黒生 350ml を購入、持参したウイスキーで車中静かに一人乾杯し、ほろ酔い機嫌で 18 時頃帰宅できました。

